

平成 23 年度事業報告

平成 23 年度庶務事項

年月日	記 事
23. 4. 1	公益財団法人移行登記
4. 26	<p>理事会（決議省略）</p> <p>第1号議案 固定資産の振替について</p> <p>第2号議案 正味財産の振替について</p> <p>第3号議案 平成23年度助成事業（第1次募集分）の採択について</p> <p>第4号議案 平成23年度事業計画について</p> <p>第5号議案 平成23年度収支予算について</p> <p>第6号議案 特定資産の用途等について</p> <p>第7号議案 財団法人さんりく基金賛助会員に関する規程の一部改正について</p> <p>第8号議案 財団法人さんりく基金事務局組織規程の一部改正について</p> <p>第9号議案 財団法人さんりく基金代決専決規程の一部改正について</p> <p>第10号議案 財団法人さんりく基金文書取扱規程の一部改正について</p> <p>第11号議案 財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について</p> <p>第12号議案 財団法人さんりく基金公印管理規程の一部改正について</p> <p>第13号議案 財団法人さんりく基金費用弁償及び旅費に関する規程の一部改正について</p> <p>第14号議案 財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について</p> <p>第15号議案 財団法人さんりく基金任期付職員等就業規程の一部改正について</p> <p>第16号議案 財団法人さんりく基金財産管理規程の一部改正について</p> <p>第17号議案 公益財団法人さんりく基金評議員会規則の制定について</p> <p>第18号議案 公益財団法人さんりく基金理事会運営規則の制定について</p> <p>第19号議案 公益財団法人さんりく基金公益目的事業積立金規程の制定について</p> <p>第20号議案 公益財団法人さんりく基金法人管理運営積立金規程の制定について</p> <p>第21号議案 公益財団法人さんりく基金が保有する個人情報保護等に関する規程の制定について</p> <p>第22号議案 公益財団法人さんりく基金が保有する文書等の開示等に関する規程の制定について</p>
4. 26	<p>評議員会（決議省略）</p> <p>第1号議案 固定資産の振替について</p> <p>第2号議案 正味財産の振替について</p> <p>第3号議案 平成23年度助成事業（第1次募集分）の採択について</p> <p>第4号議案 平成23年度事業計画について</p> <p>第5号議案 平成23年度収支予算について</p> <p>第6号議案 特定資産の用途等について</p>
5. 12	本監査（於：岩手県庁）
6. 6	<p>第1回理事会（於：岩手県庁）</p> <p>報 告1 理事の退任について</p> <p>報 告2 職務執行の状況について</p> <p>第1号議案 平成22年度事業報告及び附属明細書の承認について（承認事項）</p> <p>第2号議案 平成22年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について（承認事項）</p>

	第3号議案 平成23年度事業計画の変更及び収支予算（補正第1号）の承認について（承認事項）
	第4号議案 平成23年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について（決議事項）
6.14	第1回評議員会（於：岩手県庁） 第1号議案 議長及び副議長の選出について 第2号議案 議事署名人の選出について 第3号議案 評議員の退任及び選任について 第4号議案 理事の退任について 第5号議案 平成22年度事業報告及び附属明細書の承認について（承認事項） 第6号議案 平成22年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について（承認事項） 第7号議案 平成23年度事業計画書及び収支予算書等（補正第1号）の承認について
6.24	変更登記（理事・評議員の変更）
7.25	第1回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
8.8	第2回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
8.29	第3回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
9.9	財政的援助団体等に係る本監査（於：岩手県庁）
9.12	第4回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
9.16	理事会（決議省略） 報 告 評議員の退任及び選任について 第1号議案 平成23年度事業計画の変更及び収支予算（補正第2号）の承認について
9.20	評議員会（決議省略） 第1号議案 平成23年度事業計画の変更及び収支予算（補正第2号）の承認について 第2号議案 評議員の退任及び選任について
9.28	第5回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
9.30	変更登記（評議員の変更）
11.1	第6回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
11.9	理事会（決議省略） 第1号議案 平成23年度事業計画の変更及び収支予算（補正第3号）の承認について
11.20	評議員会（決議省略） 第1号議案 平成23年度事業計画の変更及び収支予算（補正第3号）の承認について
11.28	第7回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
12.22	第8回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）
24.1.20	第2回理事会（於：岩手県庁） 報 告 職務執行の状況について

	<p>第1号議案 平成24年度事業計画及び収支予算の承認について</p> <p>第2号議案 公益財団法人さんりく基金事務局組織規程の一部改正について</p> <p>第3号議案 公益財団法人さんりく基金代専決規程の一部改正について</p> <p>第4号議案 公益財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について</p> <p>第5号議案 公益財団法人さんりく基金任期付職員等就業規程の廃止について</p> <p>第6号議案 平成23年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について</p> <p>第7号議案 公益財団法人さんりく基金理事会運営規則の一部改正について</p>
2.2	第9回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県議会棟）
2.3	<p>第2回評議員会（岩手県庁）</p> <p>第1号議案 議事録署名人の選任について</p> <p>第2号議案 平成24年度事業計画及び収支予算の承認について</p>
2.29	第10回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県水産会館）
3.26	第1回調査研究事業審査委員会（於：盛岡地区合同庁舎）
3.28	第11回被災地復興支援助成事業審査委員会（於：岩手県庁）

基本財産造成状況等

1 基本財産造成状況（平成 24 年 3 月 31 日現在）	335,400,000 円
(1) 県	230,000,000 円
(2) 市町村	100,000,000 円
(3) 民間企業団体等	5,400,000 円

市町村別出捐内訳

(単位：千円)

市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額
大船渡市 (うち旧三陸町分)	10,900 (3,600)	宮古市 (うち旧宮古市分) (うち旧田老町分) (うち旧新里村分) (うち旧川井村分)	19,000 (10,000) (3,100) (2,900) (3,000)	久慈市 (うち旧久慈市分) (うち旧山形村分)	10,400 (7,500) (2,900)
陸前高田市	6,100			普代村	2,900
住田町	3,400			野田村	3,100
釜石市	9,200			洋野町 (うち旧種市町分) (うち旧大野村分)	7,800 (4,500) (3,300)
大槌町	4,900	山田町	5,400	合 計	100,000
遠野市 (うち旧遠野市分) (うち旧宮守村分)	9,400 (6,200) (3,200)	岩泉町	4,400		
		田野畑村	3,100		

民間企業・団体等出捐内訳（名称は出捐当時）

・岩手県銀行協会（岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、宮古信用金庫、一関信用金庫、花巻信用金庫）	2,000 千円
・新日本製鐵株式會社釜石製鐵所	1,000 千円
・東北電力株式会社岩手支店	1,000 千円
・日本電信電話株式会社盛岡支店	1,000 千円
・久慈商工会議所	100 千円
・宮古商工会議所	100 千円
・釜石商工会議所	100 千円
・大船渡商工会議所	100 千円
民間企業・団体等計	5,400 千円

2 投資有価証券評価益（平成 24 年 3 月 31 日現在）	6,463,576 円
---------------------------------	-------------

基本財産合計額 341,863,576 円

平成 23 年度事業実施状況について

1 基本方針

平成 23 年度は、東日本大震災津波の発生により本県沿岸部が甚大な被害に見舞われたことから、公益財団法人さんりく基金のこれまでの事業を大きく見直し、震災復旧・復興に資する事業支援を重点的に推進した。

また、震災により 22 年度内において完了できなかった事業の繰越継続を認め、23 年度において引き続きその事業完了を支援した。

2 事業別の実施状況

(1) 被災地復興支援調査研究事業

〔目的〕 震災後、様々な団体による被災地支援が行われ、特に従前からの地域間交流をもとにした住民主体の被災地支援が効果的に行われている。こうした事例や被災地のニーズを調査し、今後の被災地復興に向けた効果的な支援方法の検討を行う。

〔実施状況〕・復興と地域振興のパートナーづくりによる県北・沿岸地域の復興施策に関するモデル調査事業

・大学との連携により東北の文化・伝統等地域資源を活かし被災地復興に活かす可能性調査（第 1 回ワークショップ いわて三陸復興のかけ橋～新しき明日へ向かって～

H23. 12/18 岩手県立大学宮古短期大学部 110 人参加

第 2 回ワークショップ H24. 2/19 釜石市 65 人参加

(2) 三陸地域の振興のための人材育成事業

〔目的〕 海洋関係研究機関のネットワークの構築、ネットワークの強化を図り、三陸地域の振興に資する研究機関・研究者・関係団体の活動促進を図るとともに、三陸地域に関する研究・教育の普及の取組みなどの三陸地域の振興に資する人材育成を図る。

〔実施状況〕・いわて海洋研究コンソーシアムへの形成

いわて海洋研究コンソーシアム連携会議、ネットワーク交流会への参加（H23, 9/27 岩手県庁）

・復興支援に意欲的な研究機関ネットワークの形成

県外学術機関関係者との意見交換（産業技術総合研究所・東北大学）

・被災地の未来を担う青少年育成支援

「被災地の子どもたちに笑顔の夏を！プロジェクト」の開催

（H23. 8/4～6 軽米町 18 人参加、H23. 8/3～5 西和賀町 39 人参加、

H23. 8/4～6 八幡平市 33 人参加）

「いわて三陸ジオパーク・地球科学と防災フェア 2012in 大船渡」の開催（H24. 1/28 大船渡市民文化会館）

(3) 調査研究事業に対する助成

〔目的〕 研究機関等を対象とし、三陸地域をテーマ、フィールドとする調査研究や研究開発で、三陸地域の課題や新たな可能性の調査分析や三陸地域の振興に資する新たな技術・シス

テム等の研究開発への助成を行い、その調査研究成果の普及啓発により、三陸地域の地域資源を活用した研究・開発の基礎となるよう促進を図る。

〔実施状況〕 奨励研究 6件（助成総額 1,770,000円）【22年度継続事業】
課題解決研究 5件（助成総額 3,723,200円）【22年度継続事業】
共同研究 2件（助成総額 968,880円）【22年度継続事業】

（別添資料1参照）

萌芽的調査研究 5件（助成総額 1,500,000円）

発展的調査研究 10件（助成総額 10,000,000円）

（別添資料2参照）

（4）研究開発事業に対する助成

〔目的〕 三陸地域及び周辺地域の事業者が研究機関と連携した研究開発や産業化を進める取り組みへの助成を行う。

〔実施状況〕 研究開発事業 4件（助成総額 4,800,000円）

（別添資料3参照）

（5）地域振興事業に対する助成

①地域活性化モデル創出

〔目的〕 地域活性化のモデルとなる先駆的・先導的取り組みへの助成を行う。

〔実施状況〕 まったけ振興事業（助成額 1,200,000円）

②地域活性化広域展開

〔目的〕 全県又は広域地域を巻き込んで進める地域活性化の先駆的・先導的取り組みへの助成を行う。

〔実施状況〕 宝を生かしたエコツーリズム展開事業（助成額 7,000,000円）

（別添資料4参照）

③被災地復興支援助成事業

〔目的〕 東日本大震災において甚大な被害を受けた沿岸地域の復興を図るための事業への助成を行う。

〔実施状況〕 被災事業者業務再開 171件（助成総額 110,761,699円）

被災地域産業再生 12団体（助成総額 165,663,170円）

被災地元気回復 80件（助成総額 17,642,328円）

（別添資料5参照）

事業報告の附属明細書

平成 23 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 24 年 5 月

公益財団法人さんりく基金

(別添資料1)

調査研究事業【平成22年度継続事業】

(1) 奨励研究(6件)

	研究者	研究題目・目的	基金助成額
1	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 教授 大竹 二雄	題目：三陸沿岸におけるアユの初期生活史の解明 目的：三陸沿岸域のアユを対象として、仔魚の流下から遡上に至るまでの海域における分布・成長・回遊などの生活史を明らかにし、河川遡上個体群の構造とその形成機構を解明することで三陸地域のアユ資源の増加や保全の確立に資する生物学的知見を提供する。	300,000
2	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 教授 大竹 二雄	題目：耳石微量元素組成を指標としたニシンの集団構造の解明 目的：ニシンの個体の仔稚魚期に相当する耳石の微量元素組成の違いから、各個体郡内における出生地の異なりや交流割合を解明し、資源状態や集団構造を把握する。	300,000
3	北里大学海洋生命科学部 講師 天野 春菜	題目：低塩分海水での飼育による安定的なニシン種苗生産技術の開発 目的：安定的なニシン種苗生産技術を開発することを目的として、成長および環境適応に密接に関与する成長ホルモンおよびインスリン様成長因子の遺伝子をクローニングする。	300,000
4	岩手大学農学部 准教授 平野 紀夫	題目：カキのノロウイルス汚染リスク評価に関する基礎的研究 目的：生食用カキについて、ノロウイルスによる汚染を原因とする食中毒を未然に防止し、安全なカキの安定生産に資するため、培養手法が確立されていないノロウイルスの不活化評価手法を開発する。	300,000
5	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 教授 大竹 二雄	題目：マガキ貝殻中の微量元素組成の地理的差異～三陸産マガキの判別手法の確立～ 目的：三陸沿岸において、マガキは重要な水産資源の1つである。マガキの産地偽造を防ぎ安心・安全な食品の安定供給をするためには、正確かつ、迅速で簡便な産地判別法を確立する必要がある。本研究では、不可食部である貝殻中の微量元素組成を指標としたマガキの産地判別の有効性の検討を目的とした。	270,000
6	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 准教授 佐藤 克文	題目：宮古湾におけるカワウ・ウミウの生息状況及び漁業被害の実態把握調査 目的：宮古湾とその周辺に生息する2種類の鵜類について、生息個体数、採餌域、繁殖地など明らかにし、それらが湾内において、どのような水産資源を利用しているのかを明らかにする。	300,000
			基金助成額計：1,770,000円

(2) 課題解決研究 (5 件)

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的	基金助成額
1	北里大学海洋生命科学部 准教授 林崎 健一	<p>題目：湾内環境モニタリングシステムの有効活用に関する研究</p> <p>目的：湾内の漁業生産に影響を与える水温や風などの環境要因を低予算でリアルタイムにモニタリングする3次元観測網を開発し、三陸域の各湾に配備することにより、湾内の水隗の移動パターンを明らかにするとともに、水温変化とホタテ斃死や植物プランクトンの生産との関係について検討を行う。</p>	745,090
2	北里大学海洋生命科学部 講師 山田 雄一郎	<p>題目：岩手県沿岸におけるサケ幼稚魚の餌料環境の解明</p> <p>目的：放流稚魚の生残率を増加させ親魚の回帰率を高水準に保つために、動物プランクトンの群集組成と生物量の季節的变化を精査し、沿岸域におけるサケ幼稚魚の餌料環境を解明する。</p>	404,960
3	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	<p>題目：三陸沿岸におけるミズクラゲ類の生態について</p> <p>目的：漁業被害を与えるキタミズクラゲおよびミズクラゲの野外生態について、定置網漁船などへの乗船調査や港湾岸壁調査等を行い、明らかにする。</p>	1,000,000
4	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	<p>題目：三陸沖日本海溝海底の亀裂中に存在する海底ゴミと現場微生物に関する調査</p> <p>目的：三陸沖日本海溝側斜面に発見された海底の亀裂の底に蓄積されたゴミの種類と分布を調べ、現場環境に生息する微生物の多様性を明らかにすると同時に、現場のゴミ成分を分解できる能力を持った有用微生物を分離する。</p>	573,150
5	岩手大学工学部 教授 成田 榮一	<p>題目：廃棄貝殻を原料とする新しい環境浄化材料の開発</p> <p>目的：養殖水産業で大量に発生する廃棄貝殻の有効利用を背景とし、これを原料に簡便な処理を施すことによりラジカル発生剤を得る方法を確立し、その発生機構を明らかにするとともに、これをシックハウス成分のホルムアルデヒドなどの環境汚染物質の分解に利用しようとするもの。</p>	1,000,000
		基金助成額計：3,723,200 円	

(3) 共同研究 (2件)

(単位:円)

	事業者 研究者	研究題目・目的	基金助成額
1	株式会社アマタケ 代表取締役社長 甘竹 秀企 (大船渡市) 北里大学海洋生命科学部 准教授 佐藤 繁	題目: 麻痺性貝毒除染効果を持つ新規二枚貝用飼料の開発 目的: 近年解明されつつある二枚貝の麻痺性貝毒の代謝機能を応用し、安価なフェザーミールをベースとして、麻痺性貝毒除染効果を持つ付加価値の高い二枚貝用飼料を開発する。	616,000
2	E C O - A株式会社 代表取締役 水野 芳伸 岩手大学人文社会科学部 教授 河田 裕樹 一関工業高等専門学校 准教授 渡邊崇	題目: ホタテ貝殻焼成パウダーの除菌・抗菌効果検証、評価 目的: 貝殻を工業会に普及させ、消費拡大することを目的とし、貝殻が持つ除菌・抗菌効果を付加した新しい工業用熱可塑性樹脂のベースポリマー違いによる数種類の熱可塑性樹脂を開発する。これに使用するホタテ貝殻焼成パウダーの焼成条件、混合比率、貝殻の構造の違いによる除菌・抗菌効果の検証・評価を行う。	352,880
		基金助成額計	968,880

(別添資料2)

平成23年度調査研究事業一覧

(1) 萌芽的調査研究(5件)

(単位:円)

	研究者	研究題目・取組の概要	基金助成額
1	岩手県立大学総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎	題目:三陸海岸地域における森林・海浜セラピー基地化の可能性に関する調査研究 取組:1.三陸沿岸の海浜・森林セラピー歩道候補の抽出とセラピー歩道の現況調査 2.セラピー効果の検証	300,000
2	北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所 研究員 清水 恵子	題目:三陸養殖ワカメ葉体表層の微生物群集構造 取組:1.ワカメ葉体および粘液層の分画 2.ワカメ付着微生物由来DNAの遺伝子解析	300,000
3	岩手大学農学部 准教授 村元 隆行	題目:龍泉洞黒豚の豚肉品質の評価 取組:1.龍泉洞黒豚の生産状況の調査 2.龍泉洞黒豚の豚肉品質の調査 3.龍泉洞黒豚の豚肉製品の共同開発の可能性についての検討	300,000
4	岩手大学工学部 准教授 高木 浩一	題目:野菜工場の液肥雑菌不活性化のためのコンパクトな水中プラズマ装置開発 取組:液肥栽培での雑菌の不活性化による野菜の病気リスクの低減を目的とし、電源開発、水中放電装置開発、雑菌減少と生育促進効果の検証を実施。	300,000
5	岩手大学農学部 教授 木村 賢一	題目:三陸沿岸の海藻類ハネゾソ、コモングサからの機能性物質の探索 取組:遺伝子変異酵母に対し活性が認められたハネゾソ、コモングサ、エゴノリをHPCLを用いて分析し、異なる物質についてLC-MSを用いた同定の検討を行う。	300,000
			基金助成額計:1,500,000円

(2) 発展的調査研究 (11 件)

(単位：円)

	研究者	研究題目・解決課題	基金助成額
1	北里大学海洋生命科学部 教授 森山 俊介	題目：サケの卵巣外皮から調製した機能性成分の水産増養殖への活用法の検討 取組：1. 成長促進因子の解析 2. 機能性飼料の試作 3. 機能性飼料の有効性の検証	1,000,000
2	東北大学大学院農学研究科 教授 遠藤 宜成	題目：養殖ワカメに被害を与える吸管虫の生物学的研究 取組：吸管虫の由来を明らかにし、活発な増殖に必要な要因を突き止める。吸管虫の細胞内遺伝子の解析から餌生物を特定する。	1,000,000 (期間延長)
3	北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所 部長 志津里 芳一	題目：三陸イサダ乳酸発酵品の新規機能探索研究 取組：イサダ由来の未知のペプチドについての詳細な検討	1,000,000
4	北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所 部長補佐 笠井 宏朗	題目：三陸ご当地酵母の採集と利用 取組：1. 三陸ご当地酵母の採集 2. 三陸ご当地酵母の実用性の評価 3. 三陸ご当地酵母の実用試験	1,000,000
5	岩手生物工学研究センター 研究員 山田 秀俊	題目：イサダ（ツノナシオキアミ）による脂肪蓄積抑制効果の解明 取組：肝臓、筋肉、脂肪に対するイサダ水溶性抽出物摂取による血中マーカー値の変化、イサダ水溶性抽出物が作用するシグナル経路の解析	1,000,000
6	岩手生物工学研究センター 主席研究員 矢野 明	題目：新規食品開発のためのナマコ機能性研究 取組：ナマコの抗真菌活性、特にカンジダ菌に対する抑制効果を確認し、抗真菌活性を持つ食品開発と安全性・有効性の評価を実施。	1,000,000
7	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沿岸におけるミズクラゲ類の生態について 取組：三陸沿岸におけるミズクラゲの生活史を明らかにする。 潜水艦をもちいて、表層から深海までのキタミズクラゲの鉛直分布を観察する。	1,000,000
8	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沖日本海溝海底の亀裂中に存在する海底ゴミと現場生物に関する調査 取組：1. 深海調査への参加 2. 得られたサンプルから目的微生物の分離 3. 分離された微生物の性能試験	1,000,000

(単位：円)

	研究者	研究題目・解決課題	基金助成額
9	岩手大学工学部 助教 晴山 渉	題目：三陸北部地域におけるごみ減量化・資源化プロセスの構築 取組：1. ごみの減量化に関する事業者・住民意識のアンケート調査 2. ごみの資源化に関する事業者・住民意識のアンケート調査 3. 久慈市におけるプラスチック製容器包装分別回収におけるごみ組成調査	1,000,000
10	岩手県農業研究センター 主任専門研究員 藤尾 拓也	題目：夏秋どりイチゴの9月以降の収量を向上する温度・日長制御技術の研究 取組：天然冷水源を利用した低コストな降温技術の現地実証を行い、効果を確認。四季成り性イチゴに対し6月7月に短日処理を行い、花芽の分化を抑制し、収穫量のコントロールが可能である事を確認。	1,000,000
11	岩手大学農学部 准教授 平野 紀夫	題目：マウスウイルスを用いたカキのヒトノロウイルス濃縮機序の解明とウイルス浄化法の確立 取組：生食用マガキのヒトノロウイルス（HN V）汚染の防止法と汚染カキ浄化法を確立するために試験管内で増殖定量可能なマウスノロウイルス（MN V）の感染価を指標として実験を行う。	1,000,000
			基金助成額計：10,000,000 円 延長分1件：1,000,000 円

(別添資料3)

平成23年度研究開発事業一覧

(単位：円)

	事業者 研究者	事業名・取組みの概要	基金助成額 (全体事業費)
1	株式会社丸辰カマスイ 代表取締役会長 田代 勝男 (釜石市)	事業：サケ頭部の機能性成分配合飼料を有効利用した魚類の増養殖技術の開発 取組：1. 脳室内内臓物からの増体促進成分の量産化システムおよび品質評価法を確立する。 2. 増体用飼料の量産化技術の開発と増体促進効果を検討する。	1,200,000 (1,510,511)
2	株式会社丸辰カマスイ 代表取締役会長 田代 勝男 (釜石市)	事業：イカ軟骨を利用した機能性食品素材の開発事業 取組：1. イカ軟骨原料の安定確保のための調査を行い、八戸市とむつ市の会社から月1トンの仕入れを確約した。 2. イカ軟骨からのNAG製造技術の確立。 3. コンドロイチン硫酸やコラーゲンペプチド製造の可能性の検討。	1,200,000 (1,528,680)
3	小野食品株式会社 代表取締役社長 小野 昭男 (釜石市)	事業：高齢者向けスープ製品開発 課題：1. 高齢者食としてのスープ開発 2. 高齢者向け食品物性への対応 3. 健康志向への対応	1,200,000 (1,500,000) (期間延長)
4	株式会社小西鋳造 代表取締役 小西 信夫 (宮古市)	事業：使用済み切削チップ微粉碎機の開発と粉碎粉末によるリサイクル材料開発 取組：1. 粉碎機の開発 2. 再生サーメットチップの試作開発 3. 肉盛溶接棒の試作開発	1,200,000 (1,611,000)
5	久慈琥珀株式会社 代表取締役社長 向 正彰 (久慈市)	事業：久慈産琥珀から単離された新規機能性物質の高度利用法の検討 取組：久慈琥珀にのみに含まれる新規機能性物質についてヒト前骨髄性白血病HL60に対するアポトシス誘導メカニズムを解析した。詳細な作用経路について検討する。	1,200,000 (1,500,000)
			基金助成額計：4,800,000円 (全体事業費計：6,150,191円) 延長分1件：1,200,000円

(別添資料4)

平成23年度地域振興事業一覧

(1) 地域活性化モデル創出

(単位：円)

	事業者	事業名・取組み内容	基金助成額 (全体事業費)
1	岩泉商工会 会長 八重樫 義一郎	事業：まつたけ振興事業 取組み：1. まつたけ山づくりの普及・継続と里山ガイドの育成の達成 2. 「岩泉まつたけ」の地域ブランド化の取組みの達成 3. まつたけ小屋の試験設置の達成 4. まつたけを活用した新商品開発の達成	1,200,000 (1,821,440)

(2) 地域活性化広域展開

(単位：円)

	事業主体 連携事業者	事業名・取組み内容	基金助成額 (全体事業費)
1	二戸市宝を生かした事業 実行委員会 会長 小保内 道彦	事業：宝を生かしたエコツーリズム展開事業（全国大会の開催） 取組み：「全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへ」を開催し、「エコツーリズム」の広域連携による推進。	7,000,000 (12,000,000)